



『岩国錦帯橋』ボールペン



錦帯橋は、岩国市の錦川に架かる橋で、4つの石造橋脚を築いた上に5つのアーチ型の木造橋を架けており、全長193.3m、幅5m、水面からの高さは最大で約10m、日本三名橋の1つに数えられています。

1673年(延宝元年)岩国藩主・吉川広嘉公が、錦川を挟んだ岩国城の横山と城下町の錦見との間に創建した橋で、世界的にも貴重な木造建築物としてもその名が知られています。

最初の橋は、洪水により完成後わずか8ヶ月で流失しましたが、その後すぐに再建された橋は、橋脚の敷石を強化したところこの改良が功を奏し、その後は流失することもなく定期的に架替工事が行なわれ、1950年(昭和25年)のキジア台風による流失まで、276年もの間「希代不落の名橋」として永くその姿を保ちました。1953年(昭和28年)に再建された錦帯橋は、約半世紀を経て木造部の腐朽による傷みが見え始めました。そこで、2001年(平成13年)の秋から2004年(平成16年)の早春にかけて、木造部分の全面架替工事いわゆる『平成の架替』が行なわれ、この工事には全国から選び抜かれた木材が採用されました。

『岩国錦帯橋』ボールペンに使用しております木軸の部分は、1953年(昭和28年)の再建時に使用され、『平成の架替』で解体された木材(けやき)を再利用したものです。今後、入手が困難なこの解体木材は、長い錦帯橋の歴史を語るうえで極めて希少性が高いことから、製作数量は僅かに限定1000本となりました。

なお、錦帯橋の維持存続に資するために、この筆記具の売上金の一部を岩国市に寄附させていただきます。

四季折々に優美な姿を見せる錦帯橋とともに、現代に蘇った『岩国錦帯橋』ボールペンをいつまでもお手元に、そのぬくもりを感じていただければ幸いです。

平成22年

桧山事務器株式会社



企画販売：桧山事務器株式会社
TEL. 0827-22-2255(代表)
〒740-0017 岩国市今津町1丁目7-16
www.hiyamajk.co.jp

製造：株式会社パイロットコーポレーション

* 輪九曜紋の使用は、吉川家よりご許可いただきました。また、錦帯橋の写真とロゴマークの使用は、岩国市より許諾をいただきました。

* 吉川史料館でもお買い求めいただけます。
販売価格 1本 3,500円(税込)

